

市民の意見を政策へ 「議員と語る会」



協和公民館会場



国府公民館会場

11月7日～28日まで市内14か所で開催された令和4年度の「議員と語る会（議会報告会）」には、総勢約200名の市民の方に参加いただきました。各委員会からの報告の後、来場された方との意見交換を行いました。市議会議員が市民から直接ご意見やご要望、また課題をいただけることは非常に貴重なことであり、市民にとっても議会を身近に感じてもらえる良い機会となりました。会場でいただいたご意見やご質問への回答については、今後府中市のホームページなどへ掲載する予定です。

12月議会

令和4年度一般会計補正予算等を可決!

12月定例会は12月5日(月)から12月20日(火)まで16日間開き、議案16件、報告1件、発議1件 審議、議決しました。

主 な 議 案

- 教育委員会の委員の任命の同意について もりやまなおひろ 森山直洋さんを教育委員会の委員に任命 同意
- 字の区域の変更について 原案可決
地籍調査事業の実施に伴い、木野山町の一部と上下町の一部の字の区域を変更する。
- 府中市個人情報の保護に関する法律施行条例の制定について 原案可決
デジタル社会の形成を図るための関係法律が改正され、新たな「個人情報保護法」に基づく運用へ移行させるため。
- 地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について 原案可決
市職員の現行の60歳定年を令和5年4月1日から2年に1歳ずつ引き上げ、令和13年度以降は65歳定年とする。
- 令和4年度 府中市一般会計補正予算（第6号）について 原案可決
歳入歳出予算の総額に4億4,378万9千円を追加し歳入歳出236億4,703万3千円とする。

発 議

- 府中市議会の個人情報の保護に関する条例の制定について 原案可決
議会は新たな「個人情報保護法」の適用対象外であるため、市議会が独自に条例を制定する。

主 な 案 件

- 府中市議会 副議長に安友正章議員就任！
- 広島県水道広域連合企業団議員に加島広宣議員就任！

一般質問



12月8日、9日 12人の議員が
市政を問う！



創生会
もりしかわ みのる 森 稔

鳥獣対策



Q 鳥獣の生息域が拡大し、イノシシ等が市街地に出没している。「鳥獣から市民生活を守る」ための視点で、鳥獣対策の取るべき対応について伺う。

A ドローンを活用した地域課題解決の社会実装で、鳥獣被害対策に用いる準備をしている。集落を赤外線カメラ等の搭載されたドローンで撮影し、調査、分析したデータを活用した集落点検により、イノシシの潜み場を特定し、草刈りや罠の設置など効果的な対策を進めていく。



創生会
なつめ だ すみこ 秦田 澄子

地方版孤独・孤立対策 策官民連携プラットフォーム フォーム推進事業



Q どのような事業で何をしようとしているのか伺う

A 児童生徒の学校生活の安心安全を高める環境を推進するもので、生徒の困りごとに対応するためのスクールカウンセラーや、スクールソーシャルワーカー*など外部人材を活用した官民連携の生徒指導支援チームを強化する。また、ICT端末を活用した相談アプリの導入を検討しており、相談の機会を増やして、SOSを出せる環境を作り出していきたい。

*問題を抱える児童・生徒を取り巻く環境へ働きかけたり、関係機関等との連携・調整を行う人



創生会
さなだ みつお 真田 光夫

上下運動公園多目的 グラウンドネット予約



Q 利用者と環境に優しい芝生グラウンドができるが、オンラインによるネット予約ができるのかを伺う。

A 利用される団体がどのような組織で、利用目的などを確認した上で、利用許可を行うことも必要なので、オンライン化すると適正な運用が困難となる場合もあると考えてい



創生会
ほんたに ひろゆき 本谷 宏行

移住・定住につながる「地域おこし協力隊制度」の活用促進



Q 協力隊活動と任期後の定住につながる支援を図るための「中間支援組織」が必要ではないか。

A 任期後も引き続き地域の重要な人材として活躍していただくことが重要であると認識している。中間支援組織の役割機能は現在、市の職員が対応している。地域おこし協力隊制度について、今までのベースで考えていたところは反省しつつ、改めて戦略的にどう活用するのか、地域課題解決にどうつなげていくのかを全庁的に議論していきたい。



創生会
みつおか つとむ 三藤 毅

G7広島サミットに係る 府中市の取り組み



Q 取組内容とサミット閉会後の取り組みについて伺う。

A 本市を国の内外にアピールする千載一遇のチャンスと捉え、積極的に取り組んでいく。例えば「恋しきでの料理体験」「上下天領ツーリズム」「阿字和紙作り体験」「匠の技ものづくり体験」などを提案している。12月補正においては「ハコ推しプロジェクト」という名称で市内産品を包括的にPRする事業を提案し、サミット後も府中市の将来につながる成果を残して行きたいと考えている。



公明党
かしま ひろふみ 加島 広宣

ふるさと納税の推進



Q ふるさと納税による新たな財源確保として取り組みを行う。例えば、財政運営にも大きなメリットとなる。そこで、ガバメントクラウドファンディング（ふるさと納税制度を活用



公明党
おおもとち かこ 大本 千香子

ひきこもり支援



Q 国のひきこもりに関する実態調査から、府中市での当事者を推計すると約300人となる。市の把握状況と、今後のひきこもり当事者や家族への支援拡充を伺う。

A 現在、市や関係機関への相談件数として把握しているのは33人である。12月の広報にも掲載したが、相談窓口をリ・フレの健康推進課に開設した。今後、当事者の相談や居場所づくり等、「ひきこもり支援ステーション」機能を充実させていく。



市民クラブ
しばうち のりあき 芝内 則明

キッチンカー の活用



Q 市のイベントでキッチンカーを活用して賑わいを創出している。キッチンカーの公園・スポーツ施設での営業はできるのか。また、条例はあるのか。

A 現在の条例でもキッチンカーの営業は可能。しかし、ひと中心のまちづくりの時代において、都市公園の役割のポイントの一つとして、キッチンカーなど時代に即した新たな使われ方への対応などが、柔軟に行えるよう条例改正も含めた検討を行っていきたい。



市民クラブ
どい もと吉 土井 基司

学校用パソコン などの入札



Q 広島県・市の学校用パソコンなどの入札談合で11社に排除措置命令が出た。府中市での対応および、パソコン調達に支障が出るのか、該当業者が落札したことがあるのか伺う。また、不正抑止のため土木工事以外の入札情報も1年程度公開しておくことを要望する。

A 府中市登録の該当業者は3、4か月の指名除外としたが、調達に支障ないことを確認している。ここ3年間の学校用パソコンの入札に該当事業者の参加はなかった。



市民クラブ
みずた 隆豊

県立上下高等学校の 存続支援



Q 現在、上下高校存続支援のため、同窓会等が中心となり来春の入学者に一律5万円の入学支度金を準備した。府中市の存続支援の具体策を伺う。

A 県教委は2年後の上下高校全生徒数80名回復の方針を示した。今までは上下高校魅力化コーディネーターの配置、天領あやめ塾を支援してきた。今後は近畿大学と連携した人材派遣や上下運動公園の芝生化と部活動の連携、北市民病院と連携した介護人材養成等を行う。下宿確保も検討する。



無所属
ふじもと ひでのり
藤本 秀範

地域公共交通の 在り方



Q 後期高齢者の免許返納率が高まることや地域公共交通要望に対する交通手段の対策について伺う。

A 府中市では、来年度策定予定の地域公共交通計画において、利用者を想定した公共交通とまちづくりを一体化させた議論を検討している。また、まちづくりの観点では、鉄道や路線バスなどの乗り合い型の交通機関等、全体をコーディネートする視点をもって取り組みたい。



無所属
おかだ たかゆき
岡田 隆行

出口川汚泥流出事故への 認識と被害者への対応



Q 今回の事故をどのように認識しているのか。また被害への対応はどうしていくのか。

A 今回の事故は立証できなかった。しかしながら、微小な汚泥が池に流れ込んだ可能性は否定できないと考えている。このことから、市としては、養鯉池の管理者の方に誠意を持って対応してまいりたい。



委員会での審査

総務文教委員会

・議案第73号、府中市個人情報保護の保護に関する法律施行条例の制定について

Q 個人情報保護の保護に関する法律と、従来の府中市の条例との相違点は。

A 相違点は次のとおり、①個人情報開示等の手続について、法定代理人のみに限定されていたものが、後見人等もできるよう緩和されること。②国の個人情報保護委員会の監督下に置かれ、漏えい等が発生した場合等は国へ報告を行うようになること。③個人情報の取扱いが1000人を超えるファイルについては、概要の公表が義務づけられること。④審議会を廃止し審査会に一元化すること。⑤現行の条例では、議会も対象とされていたが、個人情報保護法では、議会は対象とされないこと。の5つの主な相違点がある。

厚生委員会

・議案第76号、府中市行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する条例の一部改正について

Q 生活に困窮する外国人を生活保護法に準拠して保護するにあたり、個人番号を利用するという趣旨であるが、対象となる外国人の在留資格、対象人数、医療扶助の内容について伺う。

A 外国人の在留資格については、出入国管理及び難民認定法に基づく在留カード、又は日本国との平和条約に基づく日本国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法に基づく特別永住証明書を持たれた方で、生活に困窮する外国人が対象となる。対象となる人数は、令和4年12月1日現在3名である。また、医療扶助事務の流れについて、オンライン資格確認が導入された後は、まず生活保護受給者が医療機関を受診する前に、ケースワーカーが保護受給者であることの情報や受診予定の医療機関情報などを資格確認システムに登録

予算特別委員会での審査

総務文教分科会

・議案第80号、令和4年度府中市一般会計補正予算（第6号）について

Q 「府中のいっころ、ハコ推しプロジェクト」について、このプロジェクトはどのような取り組みか。また、展示プロデュース業務とは、具体的にどのような業務なのか。

A 今回のG7サミットが広島県で開催されること

A 国土調査法に基づく地籍調査で字の区域の変更を行うときは、地番区域の調整という基準に基づいて変更している。地番区域の調整の一例として、時代の変化により、字の異なる農地同士を合筆する場合であるとか、道路の拡張により、拡張部分の字を元の道路の字に揃える場合、また、一つの区域の中に他の字名の筆があるものを一つの区域の字に揃える場合などがある。字の区域を変更しようとする際には、現状を把握したうえで土地所有者や関係者の皆様に説明して意見を聞きながら作業を進めている。

Q 現在、字名は一般的にどのようなケースに使われるのか。

A 一般的には、住民票や戸籍などは町名や番地までを住所表示に使用し、字名は法務局に備え付けられている登記簿など、土地の権利に係る表示に使用される。

は、まさに本市を国の内外にアピールする千載一遇のチャンスであると考えている。「府中のいっころ、ハコ推しプロジェクト」は、国内外から注目の集まる絶好のチャンスに、府中産品とともに府中市全体を国内外にプロモーション、推していく取り組みである。現在、サミット関連イベントを「恋しき」へ誘致しているところであり、その「恋しき」で府中市内産品を展示し、趣

のある、見せる展示を行うことと、府中市のブランディング、訴求力を高めていきたいと考えている。今回の展示プロジェクトは、見せる展示の空間プロデュースをお願いするものである。

Q 歳出のうち10款 教育費について、特別教室等の空調設備整備事業について、夏場に間に合うのか、今後のスケジュールについて伺う。

A 今後のスケジュールとしては、年明け1月の審査を経て、2月中旬に、公告入札し、3月中旬に契約、着工開始の予定である。工期は、最大6か月を設定しているが、スケジュールの早期化を図り、令和5年度1学期中には、特別教室で空調が使用できる環境を整えたい。

厚生分科会報告

・議案第80号、令和4年度府中市一般会計補正予算(第6号)について

Q 出産・子育て応援交付金は、次年度以降も継続して実施するにあたり、国や県からの財源がなくなっても、継続する予定があるのか、また、廃止した出産応援金との違いは何か。

A 令和5年9月末までの財源が確保されているが、それ以降、この事業が継続されるかどうかは、国において調整中である。ただし、現在の少子化対策に対する施策として、現状ではすぐに廃止されることは考えにくい。もし仮に国の施策でなくなった場

合には、その時点で、市独自の支援策を検討するか、判断していきたい。また、府中市独自の「出産応援金」については、平成26年10月から令和元年9月までの5年間、出産の際に第1子・第2子に3万円、第3子以降10万円を、出産後も市内へ定住していただく意思のある方に対して、少子化対策のひとつとして、お配りしていたものである。今回の出産・子育て応援交付金は、ただ単に支払っておしまという単発のものではなく、給付のタイミングである妊娠届出時や出産時に、保健師による、子育てに対する見通しの確認や情報提供などを行う面談を必ず実施し、お支払いするというものであり、今まで以上に充実した支援策になっていくよう努めていきたい。

・議案第81号、令和4年度府中市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について

Q 給付費が大幅に増加しているが、原因は何か。

A この半年間で、特に1件あたり100万円以上の高額な診療報酬明細書が、昨年度に比べて30件増加しており、コロナ禍でそれまで控えていた手術や高い費用がかかることが推測される。1件当たりの市が負担する額が、外来・入院ともに増加傾向にあり、こういったことが、保険給付費、高額療養費の増加につながったと考えられる。

・議案第85号、令和4年度

府中市病院事業会計補正予算(第1号)について

Q 光熱水費について、燃料の使用量と費用は前年度と比べてどのように変化しているのか。

A 物価高騰の影響というところで、電気使用量は、前年度比で4.4%増に対し、支払い額が前年度比42.9%増え、電気料の補正額は727万4千円。ガス使用量は、前年度比マイナス4.5%であるが、支払い額は、前年度比でプラス20.1%となり、ガス使用料の補正額は80万円。重油使用量は、前年度と変わらないが、支払い額は、前年度比でプラスの21.6%と増えており、重油購入経費の補正額は172万5千円。水道使用量は、前年度比プラス6.9%で、支払い額は前年度比プラス8.5%であるが、水道料金については、物価高騰の影響はない。

建設産業分科会報告

・議案第80号、令和4年度府中市一般会計補正予算(第6号)について

Q 有害鳥獣被害防護柵、電気柵ソーラー化支援事業それぞれ地域の地域によって日照時間等も違うと思うが、そういう課題はクリアできるのか。

A 太陽光発電のメリットは、太陽光が当たれば電力を生み出してくれるが、太陽光が当たっていない夜間や日照不足の時間は発電できない、あるいは発電量が低下することがデメリットと考

る。そのため、太陽光発電をする場合はバッテリーに充電を行いながら運用することになり、電気柵の消費電力は、1時間当たり約0.3ワット程度であり、太陽光パネルの発電能力は5ワットで、バッテリー容量7.2アンペア以上であれば、日照時間が1日3.5時間程度でも十分に運用可能である。効果的な電気柵による鳥獣対策を行う場合は、24時間通電を基本として、見合った設備にする必要がある。

・議案第84号、令和4年度府中市下水道事業会計補正予算(第1号)について

Q 高木ポンプ場と角田ポンプ場の耐水化診断業務とは、どういったものであるか。

A 近年頻発する大雨等により、下水処理場や雨水ポンプ場などの下水道施設が浸水し、機能停止する被害が各地で生じている。下水道施設は市民生活や命に関わる重要なライフラインであることから、災害時においてもその機能を確保することが強く求められており、府中市においても早急に取り組む必要があると考えている。今回の耐水化診断業務は詳細設計を行う前に、耐水化が必要とする対策が、建物や構造物にどの様な影響を与えるかを検証することも、事前に診断を行うことで詳細設計や耐水化工事の効率的かつ円滑な実施が出来るものである。

常任委員会の行政視察

総務文教常任委員会

令和4年10月25日(火)～27日(木)

- ・東京都 国分寺市
- 「防災まちづくりの取り組み」
- 茨城県 守谷市
- 「GIGAスクール構想」
- 静岡県 富士市
- 「行政経営プランの取り組み」



富士市では、「行政経営プラン」の取り組みについて視察した。将来にわたり持続可能なまちづくりを進めていくために、自主財源の確保や保育所の民営化など民間活力の導入を図られていた。府中市においても大切であると感じた。

建設産業常任委員会

令和4年10月12日(水)～14日(金)

- ・群馬県 高崎市
- 「有機農業の取り組み」
- 群馬県 前橋市
- 「路線バスの自動運転」
- 東京都 大田区
- 「中小企業・産業振興」

前橋市の次世代モビリティ社会実装実験センターを行政視察した。自動運転走行の実現に向けて構内で自動運転バスを走らせ実験を重ねられていた。今後、自動運転は公共交通の一つの方策として注視していく必要があると感じた。



厚生常任委員会

令和4年10月25日(火)～27日(木)

- ・北海道 奈井江町
- 「サービス付き高齢者向け住宅」
- 夕張市
- 「夕張市立診療所」
- 栗山町
- 「ケアラー支援の取り組み」
- 奈井江町の「保健センター」
- サービス付き高齢者向け住宅
- 介護老人保健施設」

令和3年度決算に係る事務事業に対する提言

市議会では、令和3年度の決算に係る事業から各常任委員会で対象事業を抽出し、今後の事業の方向性と評価意見を次のとおりとりまとめ、市長へ提言しました。

所管常任委員会	事務事業名	【今後の方向性】事務事業に対する提言
総務文教常任委員会	府中「GIGAスクール構想」ステップアップ事業	【現状のまま継続すべき】全国の類似自治体と比べても、ハード面に対する体制構築は先進的に進められ評価できる。授業での端末活用は進んでいるが、効果的な活用までは至っておらず、ICTリテラシー（情報通信技術の能力）並びに教員のICT活用指導力の向上が求められる。タブレットの使用については、学校や教員任せにせず、府中市として学年ごとの目標を定め、子どもたちが安心安全に利用できる環境整備に配慮されたい。
	新たなヒトの呼び込み(移住定住促進事業)	【一部見直しのうえ継続すべき】コロナ禍の影響下においても、空き家活用や、ホームページ作成、ワーキングホリデー（都市部の若者たちが一定期間地域に滞在し、働いて収入を得ながら、地域住民との交流や学びの場などを通じて地域での暮らしを丸ごと体感し、地域との関りを深める取り組み）など色々な取り組みが移住につながり、一定の成果を上げているが、全国的に地方移住の機運が高まっている中では満足できる評価とは言い難い。移住検討者のニーズや他市町への転出要因等の把握を行い、移住の可能性のある層が狙えているのか、取り組みがマッチしているのか精査し、事業の推進を図られたい。
	地域防災力強化事業	【一部見直しのうえ継続すべき】目標に対する実績は低調であるが、コロナ禍による影響によるものと考えられる。市民の命に関わる重要度の高い事業であり、マイ・タイムライン（一人ひとりの防災行動計画）の普及に努め、豪雨災害の記録も活用しながら、災害に対する市民の関心を高めるよう取り組まされたい。地域、学校では、防災リーダーの尽力により、防災意識が高まりつつあるが、地域格差の解消に向けて事業を進められたい。また、消防団の将来像については、処遇の見直しなども含め、早急に考え方をまとめられたい。
	ドローン戦略の推進	【抜本的な見直しのうえ継続すべき】ものづくり体験やレースイベントにより認知度の向上は期待できるが、すでに実証実験を終了し、実用化に向けた動きを行っている先進地もある中で、事業戦略としての効果が低いため、ファブラボ（ほぼあらゆるものを作るために3Dプリンタ（立体モデルを製作する機械）やカッティングマシンなど多様な工作機械を備えた工房）のあり方を含め、抜本的な見直しを検討されたい。また、産業分野におけるビジネスとして成立させるためにも、専門家の知見を活用しながら府中市の指針を明確化し、取り組みを加速されたい。さらなる認知度の向上に取り組み、「ドローンのまち」に向けた機運の醸成を図られたい。
	D X（デジタル技術を用いて業務改革をすること）の推進～ICTを活用したまちづくり～ 【市民生活総合支援アプリ構築事業】	【現状のまま継続すべき】登録者数を増やし、早期に目標の5,000ダウンロードを達成したことは評価できるが、若者や高齢者などに十分浸透しているとは言えない。市民ニーズを的確に把握して、よりスピーディーに対応し、より利便性の高いものに改善を図られたい。今後の発展を期待し、魅力あるコンテンツによる事業を拡充されたい。
厚生常任委員会	府中版ネウボラ（妊娠期から出産、就学前までの間、母子や家族を支援するための拠点やその制度）事業	【現状のまま継続すべき】コロナ禍にありながら、来所者は順調に推移しているように思われる。今後も、産前産後の精神的に不安定な母親の不安解消を図る取り組み等、切れ目のない子育て支援を継続して行っていただきたい。
	D Xの推進～ICTを活用したまちづくり～ ～発達障害・児童虐待への対応（子どもの予防的見守り支援事業）	【一部見直しのうえ継続すべき】現段階ではAI（人工知能）予測結果が実際の業務で使用できるレベルに達していない。継続して関連データの充実を図り、AIでの絞り込み精度を上げるとともに、実働体制の充実を含め、対面でのサポート可能な体制を着実に整えられたい。
	フレイル（加齢により心身が老い衰えた状態）予防事業（元気もりもり教室ビギナー編）	【一部見直しのうえ継続すべき】要介護者の増加予測に対し、健康寿命の延伸と重度化予防の観点からも、とても重要な事業である。蓄積しているデータを有効に活用し、PDCAサイクル（計画、実行、評価、改善という一連のサイクルにより制度を高めること）が円滑に機能するよう明確に数値を定め、取り組んでいただきたい。また、フレイル予防に資する事業として体力を使うスポーツ大会の開催を検討するなどし、目標の拡充に取り組んでいただきたい。
	介護人材確保事業	【一部見直しのうえ継続すべき】介護職員の不足により、今後増加する後期高齢者への対応が懸念される。介護人材の確保は、事業所におけるサービス継続のためには必須であるが、市が行う必要性を明確化し、目的に沿った効果となっているか見極め、事業を継続していただきたい。
	地域共生モデル事業	【一部見直しのうえ継続すべき】地域共生社会のために地域力のアップは市内全域で必要である。課題を明らかにしつつ、市が直接できることと、町内会・地区社協等との役割分担や達成可能な目標なのか等、事業として行うためのさらなる課題（この事業の必要性について等）の整理を行い、市内全域の事業となるよう取り組んでいただきたい。
建設産業常任委員会	産学官連携支援事業（商工業振興）	【一部見直しのうえ継続すべき】個別企業が持つ課題に沿った技術相談や技術指導により解決に結びつくなど効果は出ている。府中市の産業が直面している共通課題の解決に向け、大学と企業の共同研究を拡充されたい。また、リスクリテラシー（次世代の働き方に向けて新しい能力を身に付けること）などデジタル関連のスキルや知識を習得し、企業でDXの推進ができるよう取り組まされたい。
	チャレンジファーム広島・上下農場研修生の新規就農に向けた支援事業	【現状のまま継続すべき】新規就農に向けた支援事業は、今後、府中市農業振興ビジョンを推進していくうえでも優れた施策であり、幅広く農業後継者を育成するなど支援策を拡充されたい。また、就農者の安定的な収入確保が営農継続には不可欠であることから、府中市農業のブランド化を確立するなど、稼ぐ農業への転換に向け、取り組みを加速されたい。
	駅周辺の賑わいづくり事業	【現状のまま継続すべき】第1期整備後、イベント、ワークショップ（グループ学習、研究集会）等の実証実験等を通じて、賑わいづくりに大きな効果があったと評価できる。「駅周辺が若者や子育て世代を中心に賑わい、住み続けられるまち」を実現するため、プロモーションを継続しつつ第2期整備及び府中駅から国道まで抜ける道路の整備について早期実現に向けて取り組まされたい。
	恋しき・翁座保存・活用事業	【現状のまま継続すべき】恋しき、翁座とも歴史的・文化的に大変貴重な建造物であり、本市を代表する観光資源である。建物の保存だけでなく、本来の目的に沿った活用を図られたい。その際、恋しき・翁座の両方の活用を同時に進めるには資源的に限界があることから、別々の事業として具体的な目標を掲げ、稼ぐ観光の早期実現に向けて取り組まされたい。
	市内排水路（浸水）対策事業	【現状のまま継続すべき】異常気象に起因した浸水対策は急務であり、市内全域の排水路等の状況を把握して対策を講じる必要がある。本事業は、排水路、樋門などの現状分析を行い、対策を地域住民と共に行う、これまでにない対応である。安全安心なまちづくりに向けた詳細設計・改良工事については、優先順位をつけ早期実現に向けて取り組まされたい。

市政参画促進特別委員会体制の変更

加納委員長の議員辞職に伴い、委員会体制を変更しました。
新任：大本千香子委員長（元委員）、安友正章委員（新）

建設産業常任委員会体制の変更

安友議員の副委員長辞任に伴い、委員会体制を変更しました。
新任：森川 稔 副委員長（元委員）、安友正章委員（元副委員長）

地域の活性化に貢献できる生徒を育成することや、政治的教養を身に付ける、主体的に政治参加できる力を養うことを目的とし実施しました。



◆上下高等学校
 日程…令和4年11月18日
 テーマ…「地方自治の実態から政治を捉える」

主権者教育の実践学習として、市議会議員との意見交換により政治を身近に感じ、市政への興味を促進しました。また、地域活性化に向けた新たな発想を得ることを目的とし実施しました。



特集（高校生との意見交換会）

10月12日の府中東高校との意見交換会に続いて、市内の2つの県立高校生と意見交換会を実施しました。

◆府中高等学校
 日程…令和4年11月1日
 テーマ…「地域を考える」

11月・12月議会での各議員の議決結果(賛否が分かれたもの、主なもののみ掲載しています。詳細は府中市ホームページをご覧ください)

議案名			議員名																		
			加藤吉秀	藤本秀範	岩室雄大	真田光夫	福田勉	森川稔	芝内則明	岡田隆行	加島広宣	大本千香子	広瀬和彦	安友正章	加納孝彦	本谷宏行	土井基司	水田豊	三藤毅	田邊稔	棗田澄子
11月議会	条例	府中市手数料条例の一部改正について	-	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	予算	令和4年度府中市一般会計補正予算(第5号)について	-	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12月議会	人事	教育委員会の委員の任命の同意について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	条例	府中市個人情報の保護に関する法律施行条例の制定について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	条例	地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	予算	令和4年度府中市一般会計補正予算(第6号)について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	発議	府中市議会の個人情報の保護に関する条例の制定について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

(一議長は採決に加わらず、欠は欠席、×は反対、○は賛成、棄は棄権、除は除斥・・・本人等に関わる議案については審議に参加できないこと)

副議長就任あいさつ



安友正章

伝統ある市議会の副議長という大任を押し、身に余る光栄でございます。また同時に、責任の重さを痛感いたしております。議長を支え、公正かつ円滑な議会運営に努めてまいりますので、どうかよろしくお願い申し上げます。
人口減少や少子高齢化、いまだコロナ禍など市政の課題は山積しております。まずは市民の安全・安心を確保するとともに、活力ある府中市の実現に向け、議長と共に市議会の総合力を発揮できるよう全力で頑張る決意でございます。
市民の皆様のご支援、ご協力をどうか宜しく賜りますようお願い申し上げます。

水道広域連携企業団議員就任あいさつ

加島広宣

府中市が広域連携企業団に入ることによって水道料金の改定は、市独自の単独経営より、一定程度の値上げ抑制ができ、また国の交付金を活用しての整備がおこなえることで、老朽管路の更新などが可能となると考えられます。また、事業執行のためのマンパワー不足の解消も見込まれるなどのメリットは多く、そうした企業団会議への出席をするために本市の代表議員としての要職を賜りました。もとより、浅学菲才ではありますが、これからの、府中市水道事業の進展のために、微力ではありますが誠心誠意努力してまいります所存でございます。何卒よろしくお願い申し上げます。

議会の動き(10~12月)

- 10月4日 市政参画促進特別委員会(高校生対象アンケート様式の確認、市民対象アンケートについて)
- 10月4日 議会運営委員会(9月定例会の振り返り、オンライン委員会の検討 など)
- 10月5日 広報広聴特別委員会(編集会議、府中東高校生との意見交換会打ち合わせ ほか)
- 10月6日 総務文教委員会(事務事業評価について)
- 10月11日 賑わいづくり特別委員会(調査事業の検討)
- 10月12日 建設産業委員会(行政視察(群馬県高崎市、前橋市、東京都大田区)(10/12~14))
- 10月12日 厚生委員会(事務事業評価について)
- 10月12日 広報広聴特別委員会(府中東高校生徒との意見交換会)
- 10月21日 建設産業委員会(事務事業評価について、管内視察のまとめ)
- 10月21日 広報広聴特別委員会(府中高校・上下高校 生徒との意見交換会打ち合わせ)
- 10月25日 厚生委員会(行政視察(北海道奈井江町、夕張市、栗山町)(10/25~27))
- 10月25日 総務文教委員会(行政視察(東京都国分寺市、茨城県守谷市、静岡県富士市)(10/25~27))
- 10月28日 議会運営委員会(臨時会(11/4)の議会運営について)
- 11月1日 広報広聴特別委員会(府中高校生徒との意見交換会)
- 11月4日 市政参画促進特別委員会(市民対象アンケートについて、次年度実施事業の確認)
- 11月7日 議会運営委員会(議会運営について(12月定例会の日程など))
- 11月8日 建設産業委員会(行政視察のまとめ)
- 11月8日 総務文教委員会(行政視察のまとめ、事務事業評価について)
- 11月11日 厚生委員会(行政視察のまとめ、事務事業評価について)
- 11月15日 市政参画促進特別委員会(市民対象アンケート確認)
- 11月18日 広報広聴特別委員会(上下高校生徒との意見交換会)
- 11月25日 建設産業委員会(広島県水道広域連合企業団議員について)
- 11月29日 議会運営委員会(議会運営について(12月定例会の流れなど))
- 11月29日 賑わいづくり特別委員会(対象事業の説明など)
- 12月13日 総務文教委員会(付託議案の審査)
- 12月14日 厚生委員会(付託議案の審査)
- 12月15日 建設産業委員会(付託議案の審査)
- 12月20日 広報広聴特別委員会(議会だより編集会議 ほか)
- 12月21日 市政参画促進特別委員会(委員会視察の質問事項協議)
- 12月22日 賑わいづくり特別委員会(調査項目の協議)

視察の受入れ

- 11月1日 岐阜県北方(きたがた)町(義務教育学校の学校運営について、メリットと課題について(府中学園))
- 11月7日 山口県下松(くだまつ)市(こどもの国公園における複合遊具等の整備計画について)
- 11月17日 北海道長沼(ながぬま)町(小中一貫教育と一体型校舎について(府中明郷学園))

アンケートを行っています!

市政参画促進特別委員会では、「市民の皆さんの声をもっと反映したい」「府中市の事を一緒に考えたい」と、議会や議員、市政参画に関するアンケートを実施中です。ご協力よろしくお願いします。

対象: 府中市内に在住する満18歳以上の方
期間: 2/1~2/28
方法: 府中市公式アプリ「My府中」および「市議会ホームページ」から

府中市公式アプリ「My府中」のダウンロードはこちらからどうぞ。スマートフォンやタブレットへ無料でダウンロードして利用できます。



編集後記

2月3日は「節分」ですね。節分といえは鬼払いの風習がありますが、これは中国から伝来し、平安時代から病や災禍を追い払う儀式として宮中行事で執り行われていました。今では邪を払い福と春を呼び込む行事の「豆まき」として広く浸透していますが、この数年続いている新型コロナウイルス感染症も今年で追い払いたいものです。
また、今年5月19日から21日まで「G7広島サミット」が開催されます。千載一遇(せんざいごう)のチャンスと捉え、府中市をしっかりとPRしていきますので、皆さまも一緒に盛り上げていただきますようお願いいたします。
(真田)

議会よりへの意見・ご感想お待ちしています。
TEL(0847)43-7171
FAX(0847)45-3212